



# 越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵

R I 会長テーマ 奉仕を通じて平和を

クラブ会長テーマ 「奉仕を楽しむ為に60名会員の達成を」

平成24年12月6日 第1887回例会

## 国歌・ロータリーソング斉唱・黙想

ゲスト・ビジター紹介

関森ガバナー補佐

誕生記念月祝・・・浅水尚伸会員・池田玄一会員・石野栄一  
会員・二川雅之会員・豊田明久会員・木村一会員



結婚記念月祝・・・中尾紘会員・野呂田昭仁会員・木村一  
会員



## 会長挨拶

## 岩淵秀一会長

皆さん今日は、12月は家族月間の月です。今月は親睦委員会さんによるクリスマス家族夜間親睦例会、また、親睦餅つきの大い等の行事があります。私達ロータリアンは、家族の理解と協力が有ってこそ、ロータリー活動が出来ます。家族やまた、家族以外のゲストを迎えての楽しい、ひと時過ごしたいと思ひます。今日は12月の第一例会ですのでロータリーの話をして頂きます。今日のテーマは日本ロータリーの試練です。日本のロータリーは昭和初期、軍閥の弾圧を受けました。ロータリークラブというのはアメリカに本部があり「アメリカのスパイの手先だ」と、軍閥からあらゆる弾圧を加えました。昭和八年、京都RCに右翼の一団が押しかけました。時の会長は、京都電灯の社長で有りました石川芳次

郎氏。石川会長は、「ロータリークラブというのは世界的な組織であつて、私達は皆、良質な職業人です」職業を通じて世のため人のために働いて

るので、決して国の利益に反することではありません」と言つたのですが、納得してもらえず「証を(あかし)をたてろ」と迫られました。

そこで石川会長は、証を立てるために二つの条件を提案しました。それが、例会で「君が代」を斉唱することと、例会場に「日の丸」を掲揚することでした。その後、ロータリークラブの例会では「日の丸」を揚げ「君が代」を歌う慣例ができました。これは、私たちの先輩が軍閥の弾圧を逃れるために、血のにじむような思ひで開発した慣例であります。皆さんは、例会でただ何となく「日の丸」を掲揚し、「君が代」を歌うのではなく、そのことを心にとめておいていただきたいとおもひます。と、紹介しています。また、「東京ロータリークラブ50年のあゆみ」には1936年、2・26事件が起きました。その翌年の日華事変が勃発した。それは、止まることなく、ついに1941年12月7日太平洋戦争へとつながつていった。こうした情勢の下にあつて、ロータリーはどうあるべきかの議論は、内外から起きた。ロータリーアンは祖国に忠誠であるべしとする、ロータリーの本義は、到底、一般の理解を得られるものではなかつた。国際団体であるという理由だけで得られるものではなかつた。そこで、対策として、日満だけのロータリー組織を新設してR. I から独立したかたちを作り、国際的なつながりを制限した組織形態によって一般の誤解を和らげ、他面、国内の一般情勢の影響から逃れられずに動揺する会員の気持ちを、日満独自の運営という提案によって收拾し、内部の結束を保持しようとしたのであつた。しかし、これらのすべては徒勞に終わった。9月11日東京ロータリークラブはついに解散した。創立者、米山梅吉は、重い足を引かずするようにして壇上に立つた。そして、奉仕の理想はあくまで堅持したいと、20年にわたつたロータリー歴の最後の言葉を残したのであつた。かくして午後1時45分会長中山龍次は、解散を告げる閉会の鐘を鳴らしたのであつた。その後、日本のすべてのクラブが国際ロータリー(R I)を脱退しましたが、日本からロータリーの灯は消え



てしまったのかといえれば決してそんなことはなかったのです。このような試練の時期を乗り越えて、戦後、日本のロータリーは次々にR I 復帰を果たしたのです。

#### 引用文献

東京ロータリークラブ創立 50 周年記念委員会  
「東京ロータリークラブ 50 年のあゆみ」 1970 年

#### 幹事報告

#### 染谷宗一幹事

- ①. 12 月・1 月のプログラムの件 (プログラム)  
別紙の通りで承認
- ②. 次年度理事・役員について (会長エレクト)  
クラブ総会で発表
- ③. クラブ細則の追加について (会長)  
クラブ総会で発表
- ④. 韓国学生訪日団受入 予算について (新世代)  
別紙の通りで承認
- ⑤. クラブ親睦旅行 決算報告 (親睦)  
別紙の通りで承認
- ⑥. もちつき大会 予算について (親睦)  
別紙の通りで承認
- ⑦. 国際理解図画展 決算報告について (国際奉仕)  
別紙の通りで承認
- ⑧. 入会案内書作成 予算について (会員増強)  
別紙の通りで承認
- ⑨. 第 8 G 新年合同例会について (IM 実行)  
集金を始めます。

#### 委員会報告

- ◇親睦委員会 清村勝之委員長  
クリスマス会、餅つき大会への参加をお願いします。
- ◇ロータリー財団常任委員会 池田玄一委員長  
寄付のご協力をお願いします。
- ◇新世代委員会 野呂田昭仁委員長  
・韓国学生訪日団受入について  
ホームステイ先を募集しております宜しくお願ひします。  
・1/10 (木) が 1/9 (水) に例会変更になっております。
- ◇IM 実行委員会 中島頼光委員  
1/18 に第 8 グループ合同新年会が行われます。参加お待ちしております。
- ◇地域広報雑誌・IT 情報委員会 糸賀正修副委員長  
「ロータリーの友」の中から、読んでいただきたい記事を紹介いたします。
- ◇地区増強委員会 藤田達夫委員  
・平成 24 年 12 月 1 日ラフォーレ清水園に於いて入会三年未満の会員を対象とした新会員の集いがありました。  
・「SAKUJI」作戦について  
全国 34 地区で「SAKUJI」作戦が開始されます。  
具体的な内容は下記の通りです。
  1. 会員に紹介状を書いて頂く様クラブへ要請して頂くこと
  2. 作戦に賛同するクラブを募って頂くこと
  3. 紹介状により地区で候補者とコンタクトをとって頂く

#### こと

この作戦は、直接越谷南クラブの会員増強とはなりません。日本全体の会員増強に役立つものであり、田中作次 RI 会長を支える大きな力となるものですので宜しくお願ひします。

#### 卓話

#### 水町俊介会員



家族月間にちなんで「家族のためにできること」

プログラム委員長である私の怠慢により、本日どなたかに卓話をお願いするのをすっかり忘れておりましたので、責任をとる形で私がお話をさせて頂くことにいたしました。

私は職業分類司法書士ということで入会させていただいておりますが、皆さんは司法書士というと、「登記の仕事」とお考えだと思います。今回はせつかくの機会ですので、司法書士が「家族に関する仕事」としてどんなことができるかというお話をさせて頂こうと思います。

皆さんが家族にしてあげられること、元気で長生きで沢山稼いであげる、というのが第一かもしれません。しかし、人間誰でも一度は死んでしまうわけで、死んでしまってから、「子供たちにこういう言葉を残したかった」などと後悔してもどうしようもないわけです。そこで、あえてタブーを恐れず、次のことをご提案したいと思います。

まずは、皆さんご存知のとおり「相続」や「遺言書」です。相続が発生すると、配偶者と子供が相続人になることが多いと思います。配偶者にはいわゆる前妻など、離婚してしまった人は含みませんが、前妻との間の子供は、相続権を持つこととなります。このような場合等、相続権を持つ者同士が争いをしてしまい、大きな問題になることがよくあります。この問題は、資産を多く持っている家庭はもちろん、相続する財産は現在住んでいる土地建物ぐらいしかないような家庭でも多く発生しています。そしてむしろその場合の方が解決が困難になります。

「あとは自分たちで何とかしなさい」でもいいのかもありませんが、後を託す人たちのことを考えて、自分の最後の気持ちをきちんと伝えるために、遺言書を作成しておくことをお勧めします。ご自分で書いて頂く「自筆証書遺言」でもいいのですが、私の立場からは、「公正証書遺言」をお勧めします。自筆証書遺言の場合は、法律の要件を満たせずに無効なものになってしまうことが多いからです。

次に、最近利用が増えてきている、「成年後見」に関してのお話です。認知症など、判断能力が低下してしまった方の権利を保護するために作られた制度です。これは大きく「法定後見」と「任意後見」に分かれます。法定後見は、判断能力が低下してしまった後で、親族などからの申立で開始する

手続です。任意後見は、判断能力が低下した場合に備えて、事前に誰かに後見人になってもらうための契約をしておいて、実際に判断能力が低下した際に、その人が後見人になる、という制度です。法定後見では、自分の意思とは関係なく後見人が決まりますが、任意後見では、自分の意思で、後見人を選んでおくことができます。自分の気持ちがはっきりしているなら、任意後見契約を結んでおくことが好ましいと思います。

しかしながら、財産を他人に任せるのは不安が・・・という考えがあることも事実だと思います。そこで法律は、「後見監督人」という制度を設けています。これは、後見人になった人が好き勝手にさせないため、裁判所が選んだ後見監督人がきちんと監視する、という仕組みです。また、そもそも財産を信託銀行にあずけてしまうという、「後見制度支援信託」という仕組みもあります。

最後になりますが、皆さんはもしも自分が意識不明の寝たきりになってしまったら家族はどうなるだろうか、と考えたことはおありでしょうか。恐らくは何とかして少しでも長く生きていてほしいと思い、入院させて延命治療を、と願うでしょう。しかしその場合には医療費などでかなり高額な出費を強いられ、また、病院に通ったりするなどの負担も発生します。これは非常に選択の難しい問題ですが、もし、そんなこと必要ない、とお考えであれば、「尊厳死宣言公正証書」を作成しておくという方法があります。これは大まかに言うと、延命治療はせずに、自然に任せて欲しい、という自分自身の意思を公正証書で残しておく、という方法です。

自分が亡くなったあとに残された家族のために、自分自身の意思でできることを、あらかじめ決めておいてあげる、というの、家族への愛情表現ではないでしょうか。

## スマイル報告

誕生祝有難うございました。・・・・二川、池田（玄）、浅水、石野  
 結婚記念月祝有難うございました。・・・・野呂田、中尾  
 水町会員卓話有難うございました。・・・・岡田、石塚、本田、浅水、小林（光）、糸賀、中尾、田中、木佐、染谷  
 年末に向けて親睦イベントがありますが、皆様大勢の参加をおねがいします。・・・・・・・・清村  
 遅刻してすみません。・・・・・・・・加藤、佐藤（陽）  
 今年も残り少なくなりました。・・・・・・・・中島  
 本日、越谷レイクタウン駅前ビル工事の竣工式でダイワ工業（株）様にはお世話になります。・・・・・・・・深井  
 皆様これから元気で頑張ってください。結婚祝、誕生祝おめでとうございます。・・・・・・・・岸田  
 早退します。・・・・・・・・中村  
 小林（光）さん、昨日はご馳走様でした。またご馳走して下さい。・・・・・・・・遠山  
 本日卓話のお時間を頂きまして有難うございました。・水町  
 関森ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。・・・岩淵、神谷、飯泉、中野、藤田、石田、小林（光）  
 岩淵会長年度も早6ヶ月が経過致しました。後半も会員皆様のご協力を宜しく願います。・・・・関森ガバナー補佐

## 出席報告

例 会 日	平成24年12月6日		
会 員 数	50名	出席	30名
出席免除者	11名	欠席	15名
出席率	82.00%	前々回MU	0名
MU修正率		会報担当：木 佐	

————— クラブプロフィール —————

☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区

台中南区扶輪社（中華民国台中市）

☆例会日 毎週木曜日（PM0：30～1：30）

☆例会場・事務局 〒343-0842

越谷市蒲生旭町10-14中野ビル2階

TEL 048-987-5761

FAX 048-987-5762

E-mail info@koshigayasouth-rc.jp

☆ホームページ <http://koshigayasouth-rc.jp/>

越谷南ロータリークラブで検索

今後の予定、活動報告などを掲載